

第4回定期総会報告

応援団 活動方針

たいと思いますが販売方法を検討中です。

4 応援団の事務及び宣伝活動のできる会員を募る。

1 技術サポート

(ホームページ作成・メール配信・映写技術など)

- ・プロジェクターを使った映画会など実施の技術講習会を開催
- ・ホームページ作成委員会の研修会実施
- ・メーリングの活用促進の為の会合の取り組み

2 映写会等啓蒙活動

☆映画「チャルカ」の取り組み…チャルカとはインドの手紡ぎ機「糸車」のことです。

「巡る因果は糸車」と例えられる仏教の教えは、自分のした行いは、良いことも悪いこともやがて自分に返ってくるといわれるものです。私たちが体験している悲惨な原発事故も、人間の過去の行いが巡り戻ってきたと考えられるかもしれません。しかし、そうであるならば、私たちは今どう生きて未来へ繋げていくか…。何十万年という単位で残る「核のゴミ」。これもまた、人類が刈り取らなければならないものです。私たちが自分たちの手で新しい未来を紡ぐことができます。すでにその道を歩き始めている人たちは大勢います…

各地で上映会を開催したいと思います。

3 物販活動

昨年度と同じようにラーメン等の販売を実施し

2019年度役員体制

原告団共同代表

松本文六
中山田さつき

弁護団共同代表

徳田靖之
岡村正淳
河合弘之

応援団共同代表

宇都宮陽子
奥田富美子
丸山武志

会計監査

工藤康紀 (新)
藤井克展 (新)

事務局長 小坂正則

応援団事務局長 伊東俊義

総会で議論された主な意見、要望、回答

- ・総会資料にはQRコードを載せてほしい。HPを知らない人もいると思うので。
- ・「講演会のおまけ」のような総会にならぬよう。
- ・講演会と総会が同時にあると自分としては助かる。原発問題を農業者、漁業者にPRできないか、福島事故で農業や漁業がどうなったか、彼らに聞かせるようなことを考えてもらいたい。
- ・行政に対してヨウ素剤配布の件で2回申し入れをした(日出町)が、いい返事が聞かれなかった。ヨウ素剤を配布している丹波篠山市長の講演会を検討してほしい。
- ・グリーンコープの物販(ひじき・有機コーヒー等)による5万円超のカンパをいただいた。「絵枠」の中に入れてある。今後、仕訳について新しい年度はまた検討する。
- ・豊予海峡トンネルは中央構造線のあるところに掘ることになり、ムチャクチャだ。この問題に取り組んでいる方と共同作戦をとりたい。
- ・原発事故が起こった時を考えて、甲状腺がんを防ぐために、ヨウ素剤の備蓄や配布体制の問題がある。どういう形で県に対して要望し取り組みを進めていくか、いろんな切り口を考えながらやっていきたい。